

2.1.8 今後必要な支援

(36) 今後必要な支援

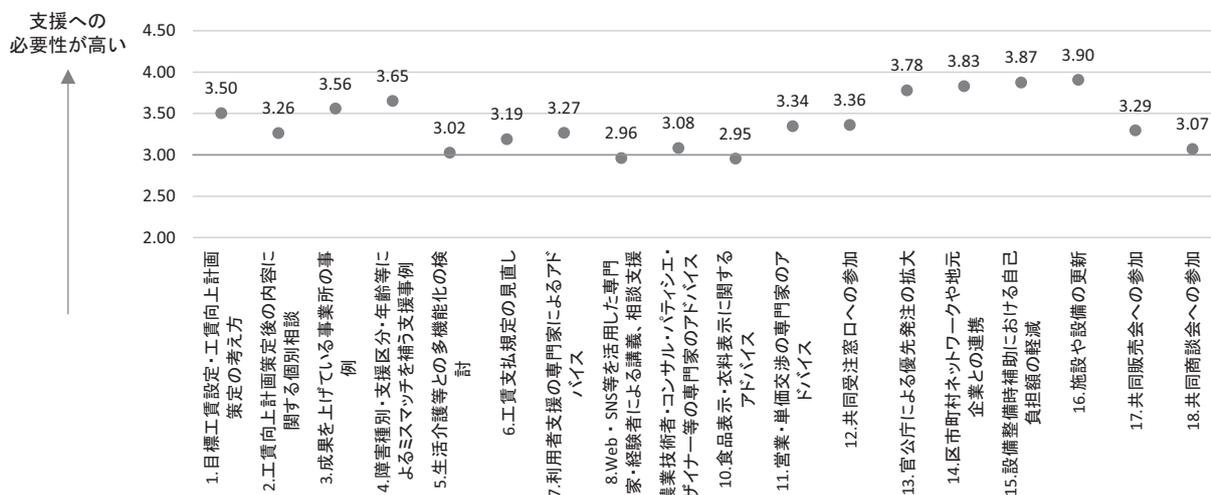
今後必要な支援としては、「施設や設備の更新」(3.90点)が最も多く、次いで、「設備整備補助における自己負担額の軽減」(3.87点)と投資に関する支援要望が強い。

また、「区市町村ネットワークや地元企業との連携」(3.83点)、「官公庁による優先発注の拡大」(3.78点)といった、営業開拓に関する要望が続く。

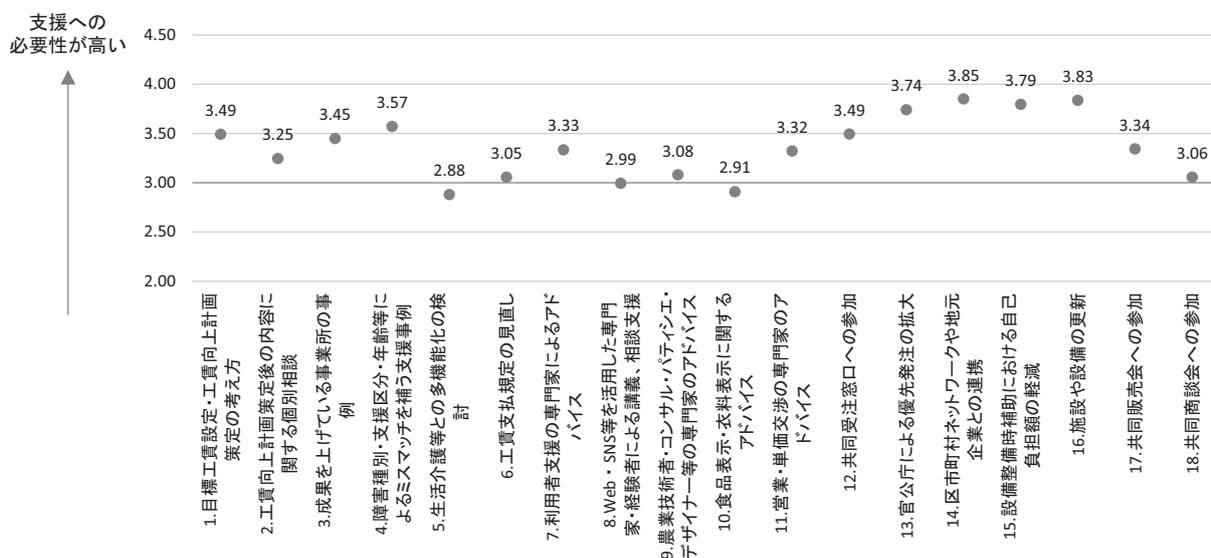
「障害種別・支援区分・年齢等によるミスマッチを補う支援事例」(3.65点)及び「成果を上げている事業所の事例」(3.56点)となっており、事例による学びについても必要性を感じている。

また、「目標工賃設定・工賃向上計画策定の考え方」(3.50点)及び「工賃向上計画策定後の内容に関する個別相談」(3.26点)と工賃向上計画策定に関する支援への必要性も高くなっている。

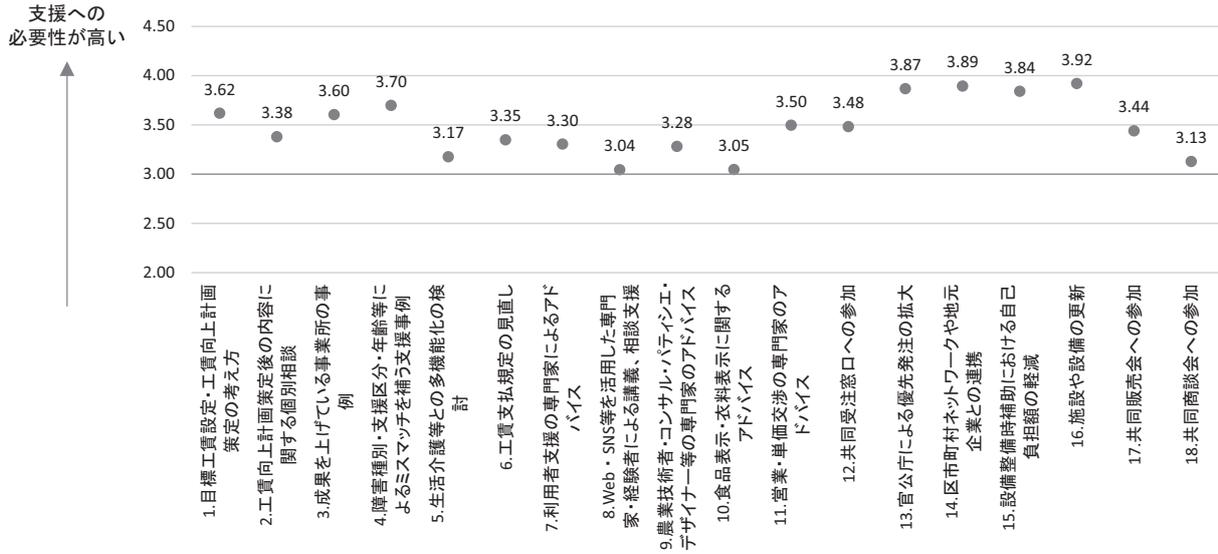
【今後必要な支援】



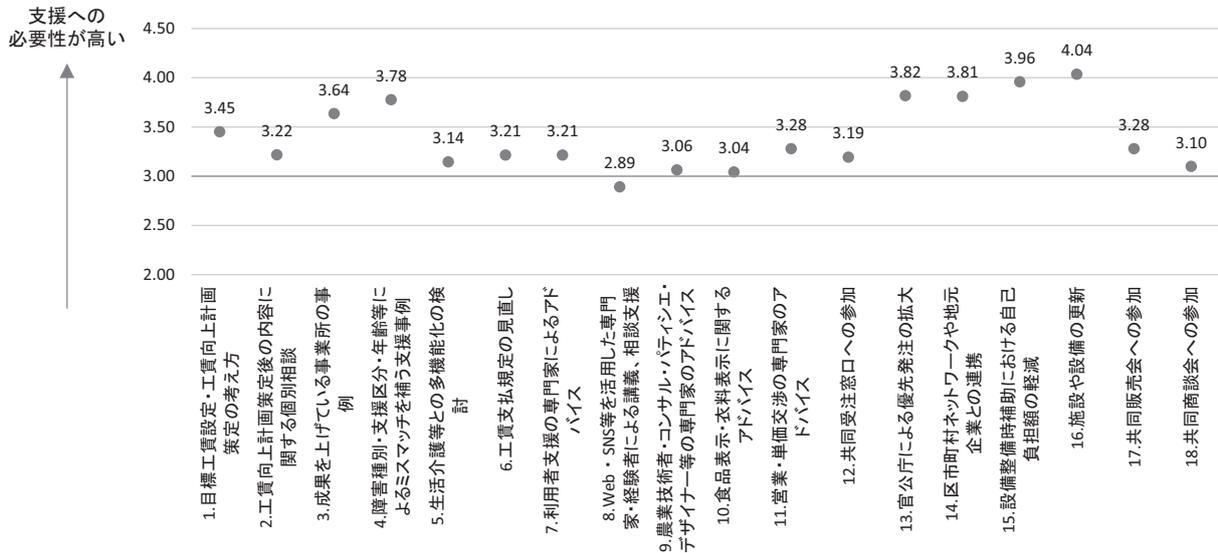
【1万円未満】



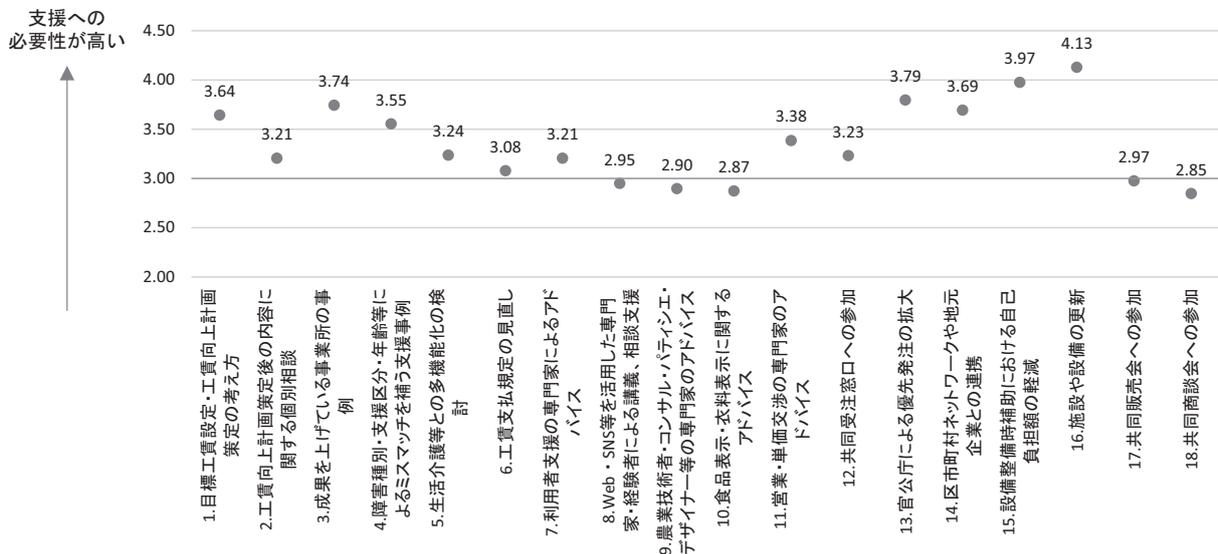
【1万以上1万5千円未満】



【1万5千以上3万円未満】



【3万円以上】



(37) 都に希望すること

都に希望することとしては、下記のような声があった。

- ・ KURUMIRU の維持・発展 (拠点増)
- ・ 各区市町村への優先調達の発注拡大の働きかけ
- ・ 自主生産品の PR
- ・ 高校・大学のボランティアの単位化
- ・ 企業とのマッチングイベントの開催
- ・ 具体的な成功事例の提示
- ・ コンサル派遣の助成・プロの営業の派遣 等

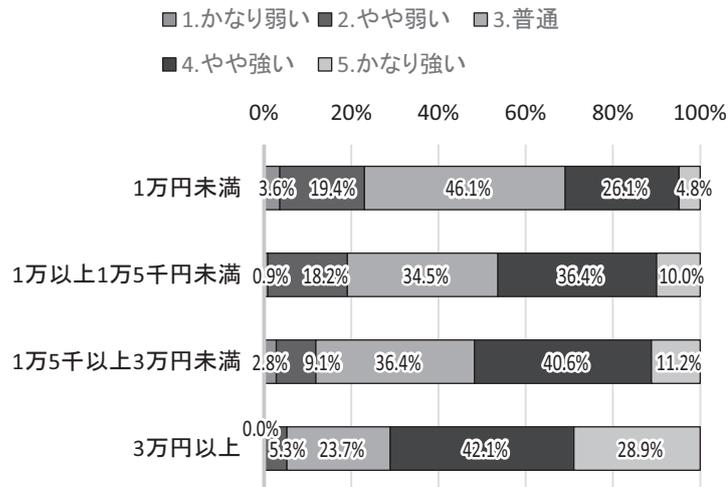
※制度直接に関する記載は割愛している。

2.2 平均工賃クラス別分析

ここでは、平成27年度平均工賃クラス別にクロス分析を行い、顕著に違いがあった設問について記載する。

- Q15 貴事業所における目標工賃の達成意欲として、全体として、どれが最も当てはまりますか？

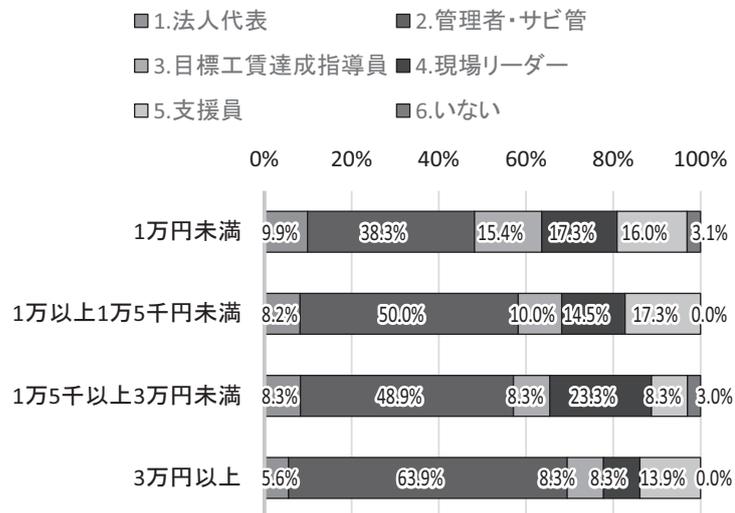
平均工賃1万円未満では、「かなり強い」「やや強い」の合計が約3割であるが、工賃が上がっていくに従って上昇し、平均工賃3万円以上では約7割が達成意欲が強くなっている。



	1万円未満	1万以上 1万5千円未満	1万5千以上 3万円未満	3万円以上	合計
1.かなり弱い	6	1	4	0	11
2.やや弱い	32	20	13	2	67
3.普通	76	38	52	9	175
4.やや強い	43	40	58	16	157
5.かなり強い	8	11	16	11	46
合計	165	110	143	38	456

○Q15 また、キーマンは誰ですか？

平均工賃1万円未満では「管理者・サビ管」が62件(38.2%)であるが、この比率は徐々に上昇し、平均工賃3万円以上では23件(63.9%)と倍近くが、管理者・サビ管がキーマンであると認識している。



	1万円未満	1万以上 1万5千円未満	1万5千以上 3万円未満	3万円以上	合計
1. 法人代表	16	9	11	2	38
2. 管理者・サビ管	62	55	65	23	205
3. 目標工賃達成指導員	25	11	11	3	50
4. 現場リーダー	28	16	31	3	78
5. 支援員	26	19	11	5	61
6. いない	5	0	4	0	9
合計	162	110	133	36	441

○Q18 貴事業所における利用者支援の姿勢として、下記のそれぞれについてどれが最もあてはまりますか？

「経済的自立に向けた就労の場」について、1万円未満では1.54点となっているが、クラスが上がるにつれて上昇し、3万円以上では、2.33点と高い値となっている。一方、「日中活動による社会交流の場」という観点は1万円未満では2.55点となっているが、3万円以上では2.10点となっている。

平均工賃クラスが高くなるにつれて、それぞれの支援を均等に重視する傾向にある。

